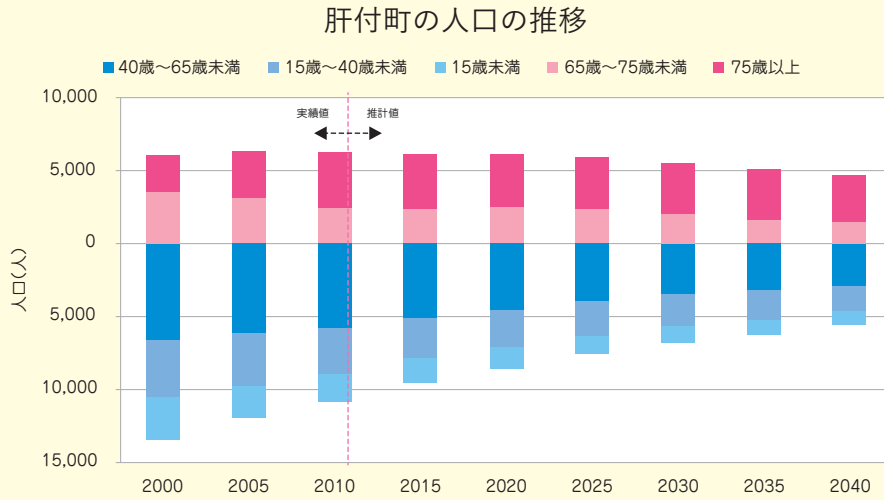


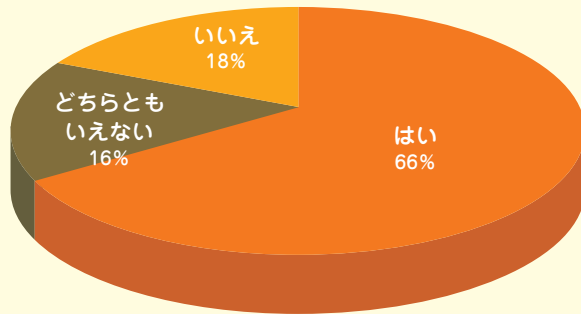
介護にまつわる数字の話

今、みなさんは何歳ですか。
 そして20年後何歳になっていきますか。
 肝付町の人口状況をグラフで見ると65歳以上の人口は現在よりも少しずつ減少します。



(出典) 2000年～2015年まで：総務省「国勢調査」
 2020年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25(2013)年3月推計)」

介護の仕事を辞めたいと思ったことがありますか



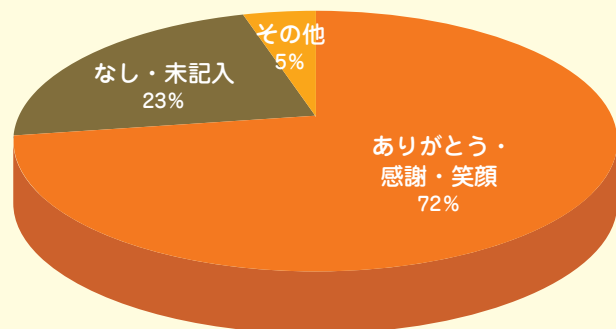
令和元年度肝付町介護職アンケートより抜粋

しかし、65歳未満の人口の減少はさらに急速に進んでいくため、自分自身の介護をどのように考えていくかと人口は、とても密接にかかわっています。
 現在、介護事業所で人手不足により休止している事業所が2ヶ所あります。建物はあっても働く人がいない状況なのです。若い年代の人口が減少すると様々な産業を支える年代が少なくなります。おのずと介護を支える人も少なくなります。介護を支える担い手がいなければ事業所を維持することが難しくなるのです。

そこでこれらの介護の職場を考えていくために、肝付町で働く介護職の方々にアンケートを行いました。
 対象は373人で311人の方が回答してくださいました。
 驚くことに、辞めたいと思っただけでなく、60%を超えています。

反対にこの仕事をしてくれなかったことは何ですか？
 とは何ですかの問いには、「ありがとう」と言われること「感謝される」と、利用者の方の「笑顔」など、利用者の方に喜んでもらえることが、70%を超える、介護職のやる気につながっていることが分かります。

この仕事をしてくれなかったことは何ですか？



令和元年度肝付町介護職アンケートより抜粋

自分自身の介護を自分ですることはできません。介護職の方々も利用者の方に力をもらって介護しています。自分や家族の介護を担う人との関係性を大切に感謝を伝え合うことが、「支え支えられる」ことになるのかもしれない。
 他人ごとではなく、事業所の皆さんや住民の皆さんと一緒に、小さな「ありがとう」から、安心して暮らせるまちづくりを進めていきたいですね。